

学校だより

No. 8

創造芳泉



～ いきいき わくわく 楽しい学校 ～

平成30年12月19日

岡山市立芳泉小学校・ひばり分校

<http://www.city-okayama.ed.jp/~hosens>

<http://www.city-okayama.ed.jp/~hibaris>



ちが みんな 違う人間 だから

みなさん、「みんな同じ人間だから仲良くしましょう。」という言葉がありますが、校長先生はちょっと違うなと思っています。

例えば、校長先生は走ることは得意ですが、ドッジボールやバスケットボールなどのボールを使ったスポーツは苦手です。歌を歌ったりギターを弾いたりするのは得意ですが、ダンスは苦手です。算数は得意ですが、外国語や理科は苦手です。

校長先生にもできることとできないこと、「デコボコ」があるのです。そして、みんなにもそれぞれ違う「デコボコ」があります。

「みんな違う人間だから、その違いをお互いに分かった上で仲良くしましょう。」というのが、正しいと思っています。
(4年生と車いす陸上選手との交流会より)

12月4日から、人権週間が始まりました。この人権週間は、毎年12月4日～12月10日までです。なぜかと言うと、70年前の12月10日に、世界の代表の人が集まる会議で、「世界人権宣言」が、まとめられたからで、その日までの一週間と決められています。

この宣言ができた理由は、その会議が開かれる数年前に、世界中を巻き込んだ戦争が終わりました。その戦争では、たくさんの人が殺し合って、世界中の人がもっとお互いを大切にする約束が必要だと考えたからです。

「人権」を英語で言うと、「HUMAN RIGHTS」

「HUMAN」は「人」、「RIGHTS」は「当たり前」という意味で、つまり、人権は「人として、もっていて当たり前のこと」です。

人権が守られないことを「差別(さべつ)」と言います。家に住むこと、食べ物を食べられること、服を着られること、誰からもたたかれないこと、学校へ行くことができること…。

全部できて当たり前の事ですよね。その当たり前のことが守られないことを差別と言います。

学校では、いじめが「差別」です。教室で、友だちから「消えろ」とか「死ね」とか言われたら、どう思いますか。そういう言葉を使うこともいじめで、差別です。

もし、そんなところを見かけたり、つい自分が誰かに言おうとしたりしていたら、その子の気持ちを考えてみてください。もし、同じ事を自分が言われたらどんな気持ちになるか考えてみてください。そして、「いじめ」だと感じたら、かわいそうと思うだけでなく、行動してください。止めてあげたり、先生に教えてくれたり、お家の人に話したり、きっとあなたにもできることはあるはずですよ。

この週間をきっかけにして、一人一人が相手を自分のこととして思いやり、優しい関係になっていけるよう、お互いに努力しましょう。
(人権週間 TV 朝礼より)

たよりのカラー版をホームページに掲載しています。ご覧ください。

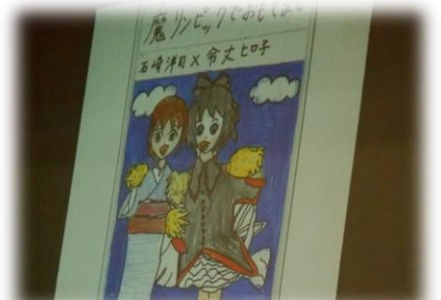
「仲間」を感じた 5年 海の学校

5年生が11月15日・16日の1泊2日で、渋川青年の家での宿泊学習に行きました。カッター学習や砂の芸術、地引き網、夜には体育館でフォークダンス大会を行いました。一緒に寝泊まりし、ここでしかできない活動・経験を通して、仲間との団結を深めることができていました。この経験をこれからの学校生活にもつなげてほしいと思います。



本に親しもう 全校 読書週間

11月16日～22日まで読書週間として、本に親しむ取組を行いました。19日(月)には、体育館で全校朝礼を行い、校長から「答えのない道德の問題 どう解く?」という本を紹介した後、図書委員会が主催して図書集会を行いました。体育館を暗くしてのブラックライトシアターや委員会の児童による本の紹介などを行いました。



一緒にどうぞ 芳泉カメパズル

今回の創造芳泉の付録として、ご家庭で遊べる「たたんで芳泉カメパズル」を二種類付けています。

1～8までの数字の面をそろえるパズルですが、全部の面をそろえるのは結構難しいです。ぜひ、冬休みに子どもたちと一緒に悩み、一緒に楽しんでください。

